

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス マリン緑ヶ丘		
○保護者評価実施期間	令和7年7月19日 ～ 令和7年8月9日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13 (回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和7年7月19日 ～ 令和7年7月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年8月29日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間で日々の情報共有がしっかりと行われており、支援の方向性を統一して行動できていることが強みです。朝礼や終礼を通して子どもたちの様子や支援内容を共有することで、どの職員が対応しても一貫した支援が行える体制を整えています。	終礼では毎日必ずその日の活動を振り返りを行い、良かった点や改善点を職員全体で共有しています。終礼内容は専用の用紙に記録し、翌朝の朝礼で全職員が確認するよう仕組み化することで、休みの職員にも情報が確実に伝わるようにしています。	今後も職員間の情報共有を継続し、支援の一貫性をより高めていきます。また子どもの変化に応じ定期的に支援内容の見直しを行うことで、よりきめ細やかな支援を提供できるよう努めていきます。
2	活動プログラムは、子ども一人一人の課題や特性に合わせて計画しています。毎月の職員会議で話し合いながら内容を決定しており、職員の意見が反映されやすい体制となっております。そのため、子どもに合った支援や活動を柔軟に行うことが出来ています。	季節ごとの行事に力を入れ、近隣の同法人事業所と合同で活動を行い、子どもたちが他事業所の子どもと関われる機会を大切にしています。また子ども達が飽きることなく楽しみながら成長できるよう、活動内容は固定化せずバリエーションを持たせるよう工夫をしています。	今後も子どもの興味や成長に合わせて活動内容を工夫し、多様な体験を通じて成長に繋げていけるようにします。
3	送迎時にはその日の様子や頑張りを丁寧に伝えることを意識し、送迎時に話した内容も終礼で共有・記録しています。これにより、職員全体でご家庭とのやり取りを把握し、保護者からの相談にも柔軟に対応できる体制を整えています。	アセスメント以外の機会でも、必要に応じて面談を行ったり、電話での相談を受け付けたりするなど、ご家庭との繋がりを大切にしています。	ご家庭との連携を深め、事業所と家庭が同じ方向を向いて支援できるよう、今後も情報共有や助言の方法を工夫していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価を実施していません。	小規模事業所のため限られた人員で日々の支援を優先しており、外部評価導入に向けた準備が進められていない。現在は自己評価を中心に質の向上を図っています。	外部評価の導入について検討し、必要に応じて実施体制を整えていきます。
2	地域や他機関(児童館や放課後児童クラブ)との交流が少ない。	個人情報やプライバシーの配慮から交流の場を設定しづらく、また日々の支援を優先しているため、地域との関係づくりにまで十分な時間を確保出来ていない状況です。	地域事業や児童館・放課後児童クラブ等との合同活動など、無理のない範囲で交流の機会を広めていけるよう検討いたします。
3	保護者が参加できる研修会等の機会が少ない。	行事や業務との調整が難しく、開催に至っていません。	保護者向けの勉強会や情報共有の場を少しずつ設け、家庭と事業所の連携を深めていけるよう努めていきます。

		公表		保護者等からの事業所評価の集計結果									
事業所名		公表日											
放課後等デイサービス マリン緑ヶ丘		R7年 8月 29日											
		利用児童数				13人			回収数			12人	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見			ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12										
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	2						今後も適切な職員の配置数で、職員の専門性を活かした支援を心掛けていきます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	3		1				ルーティンや時計の見方、片付け場所等を可視化し、子どもに分かりやすく構造化しております。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12										
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11		1					現在、十分とはいえない面もありますが、子どもの様子を毎日終礼で報告し合い、活動の様子を振り返って次回の支援に繋げるとともに、職員間で状況や特性を共有しながら、特性に応じた支援を提供できるよう努めています。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12										
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12										
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12										
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12										
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				子どもがとても楽しみにしており内容(活動プログラム)がとても良いです。						
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4		4	4	わが子は児童クラブにも通っていますが全員かはわかりません。			現在は施設内の集団活動を優先しております。今後は色々な交流の機会を踏まえ、活動等検討いたします。			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	1						支援プログラムはご見学時等に説明しており、ホームページ上に公表しておりますのでご確認ください。また利用者負担につきましては契約時に重要事項説明でご案内しており、今後も丁寧な説明を心がけます。			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12										
保護者 への 説明 等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7		3	2				個別のご相談があった場合に家族支援を実施していますが相談体制について周知に努めていくとともにより良い方法を検討いたします。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1						日頃から連絡帳や送迎時に丁寧に説明し、必要に応じて電話連絡も行うことで、子どもの健康や発達の状況について共通理解できるよう努めています。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12										
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1						職員一同、子どもの気持ちに寄り添った支援を心掛けております。今後もより共感的な支援が提供できるよう努めてまいります。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	3	3				保護者同士の連携を望まれていない方もいらっしゃる為、実施しておりません。今後は希望の保護者間で連携が支援できるような体制を検討していきます。			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1						子どもや保護者様からの相談の申し入れについては、アセスメント時や送迎時等で「何かお困りごとがあればご相談ください」とお伝えすると共に、ご自宅での様子も伺っています。相談があった場合には、職員間で協議し、迅速かつ適切に対応するよう努めています。			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12										
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	3		1				活動内容は月2回、個人情報に十分配慮しSNS（Instagram）にて公表しております。自己評価につきましては、ホームページ上に公表しておりますのでご確認ください。			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12										
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12										
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			1	まだ日が浅く、やっていると思うが訓練が行われているか分からない・・・			毎月の避難訓練やその他必要な訓練では、子どもたちが怖がらず参加できるように活動名を工夫して行っております。			
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12										
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12										
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12										
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	1			色々なレクを企画して下さり、楽しく通えています。			今後も子どもたちが安心して、楽しく通うことができるよう職員一同努めて参ります。			
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	2									

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス マリン緑ヶ丘		公表日		R7年 8月 29日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			国の設置基準である児童1人あたり3㎡以上の広さを満たしております。活動内容によって、スペースが必要な際にはテーブルを寄せるなど工夫しております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4			児童10人に対し、指導員2名という国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っております。今後も適切な職員の配置数で、職員の専門性を活かした支援を心掛けます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		掲示物や机の配置等、子どもの危険が少しでも減るように、環境整備の改善を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		気持ちの切り替えが必要な子等が支援室以外の部屋を使用することが認められている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		業務の反省点をスタッフ間で共有し、改善を目指した計画を行っています。	職員は、業務開始前の報告や終了後の振り返りを通してPDCAサイクルに参画し、業務改善に努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			評価アンケート調査を行い、結果を公表すると共に職員間でも結果を共有し業務改善に繋げております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・毎日の終礼で出た意見や、職員会議の場で出た意見をもとに業務改善を行っている。 ・職員同士の話し合いの場が以前より増えた。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		第三者による外部評価は実施していませんが、今後の実施も検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4		ジョブモデルアカデミーや研修の案内にて、必要な知識や自分が学びを深めたいことについて学ぶ機会がある。	毎月のオンラインでの研修に合わせ、希望者には地域のこども発達センター等で研修を受講して頂き、支援の質を高めるよう努めています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・計画作成前、職員間で子どもの様子や課題について共有し、それをもとに作成されている。 ・アセスメント前に職員で子どもの様子や気になる事、課題等を共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		フォーマルなアセスメントツールは使用していないが、子ども達の様子を毎日終礼で共有を行い、スタッフ間で確認ができるようになっている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援の具体的な内容」に即した支援内容を個別支援計画に設定しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・月に全体レク会議、各店舗のレク会議がある。 ・毎月のレクリエーションの振り返りや、案出しを職員全体で行い、意見を出しながら決定している。	毎月の活動会議では、子ども一人ひとりの発達や状況に応じた課題設定となるよう、活動のねらいを少しずつ変化・発展させていけるよう全職員で確認しながら行っております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・新しいアイデアを積極的に取り入れ、固定化しないようにしています。 ・子どもの課題に合った内容を考えたり、別店舗で行ったレクを共有してもらい、共有してもらったレクを子どもに合わせた内容にする工夫をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		集団活動以外でも、学年や子どもごとの課題により個別の支援を行うことができている。(シールチャレンジ、プログラミング)	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝礼にて、前日の子どもの様子や気をつける点等について情報共有がされている。	支援開始前までに、活動担当者は役割分担や活動のねらいを共有し配慮点などを十分確認した上で支援を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・話し合いの共有のみではなく、記録に残し後日誰でも確認できるようになっている。	支援終了後には、子どもの様子の共有や支援の振り返りを行い記録をしっかりと行っております。それらを次の活動のステップアップや改善に繋げています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・終礼で意見を記録し、直接支援に影響のある内容は手元でも確認がすぐできるようにデータでも入力がされている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			基本的には6ヵ月ごとに見直しを行っていますが、支援の達成状況を確認し、必要に応じてモニタリングの期間を短縮するなど適切に見直しています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			子どもが自分で考え、選択できる力を育てるため、子どもの主体性を尊重して意見や決定を大切にしています。具体的には、選択肢を提示して子どもに決めてもらう機会を設けるなど、主体的に判断する力を支援しています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1	・参加の有無を把握していない。 ・分からなかった。	開催される場合には、児童発達支援管理責任者や管理者など適任者を選んで出席しております。

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		年間行事予定や下校時刻表の共有や保護者の記載時間と下校時刻に大きなズレがある際は確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		定期的な情報共有はしておりませんが、必要に応じて保護者様の同意のもと連携できる体制を整えております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	今後障害福祉サービス事業所へ移行をする児童がいた場合、支援内容の情報提供をしていく必要性を感じる。	該当事例はありませんが、今後は必要に応じて移行先へ支援内容等の情報を提供し、連携を図っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		研修参加や訪問研修を通じて、児童発達支援センターから助言やスーパーバイズを受けております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		現在はありますが、今後必要に応じて検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4	参加の有無を把握していない。	要請があれば参加する体制は整えております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	プログラムの実施はしていないが、必要に応じて情報の提供や支援内容の説明等を行い、家庭での子どもとの関わりに繋がるよう伝えていく。	保護者様の要望に応じて、活動見学を受け入れるほか、家庭との連携を目的に自宅での継続支援を依頼するなど、家族への参加機会や情報提供を行っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			契約時に説明させて頂いております。またご不明点は随時職員が説明させて頂いております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			こどもの意思の尊重・最善の利益の優先考慮の手引きに沿って、アセスメントを行い子どもや保護者様の意向を確認し作成を行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		4		保護者同士の連携を望まれていない方もいらっしゃる為、実施しておりません。今後は希望の保護者間で連携が支援できるような体制を検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			苦情・相談解決窓口を設定し、重要事項説明書に記載の上説明を行っております。苦情・相談があった場合には、迅速かつ適切に対応するよう努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		・次月の活動カレンダーの配布や、SNSで活動の様子を配信している。この際、顔や個人情報が特定されにくいように配慮している。 ・インスタ月2回更新中、活動写真をお渡している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			個人情報に記載された書類は鍵付き書庫に保管しております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		送迎時の情報共有や必要に応じて電話での伝達を行っている。	その日に取り組む活動が視覚的に分かりやすくなるように配慮したりなど、伝える方法を子どもや保護者に合わせるようにしております。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		子どものプライバシーの観点から事業所の行事に地域住民を招待する等は行っておりません。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			各マニュアルを策定し、職員会議等での対応の確認を行っております。保護者の皆さまにはご契約時に緊急時の対応についての書面の配布を行っております。周知・訓練については日々改善に努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・服薬や配慮が必要な事について事前に確認し、職員がすぐ確認できるようになっている。	見学時にアセスメント用紙に記入頂く情報をもとにしっかりと確認するとともに、年度初めには服薬等の変更がないかも確認し、職員全員で共有しています。食事提供はありませんが、アレルギーがあればおやつ提供時には細心の注意を払い提供させて頂いております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・契約時に確認して、アレルギー有無の一覧表に記載することで職員間ですぐ確認が行えるようにしている。 ・おやつの時気をつけている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			危険な事例があった場合には、報告書に記載し職員で周知・徹底しております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			事業所内や外部研修を行う他、小さなことでも相談できる関係を築き虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			身体拘束に関して、生命や身体を保護するため緊急を要する場合に切迫性・非代替性・一時性があることを条件に行うことを共通認識とし、行う場合には手順に沿って従います。現在まで対象児童はいませんが、発生時には個別支援計画書に記載して対応できる体制を整えておりま